

平成27年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成27年9月15日(火) 14:00~16:10
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 10名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成27年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・資料1
(2) 公民館講座のための意見交換会実施報告・・・・・・・・・・資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・資料3
(4) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・資料4
(5) 自主公運審(8月4日)まとめ・・・・・・・・・・資料5
(6) 部屋利用の諸注意について・・・・・・・・・・資料6
(7) 夏休み学習室開放結果集計表・・・・・・・・・・資料7
(8) 平成27年度第3回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料8
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成27年度 公民館定期講座実施状況について
(3) 平成27年度 公民館まつりについて
(4) 意見交換会に参加しての意見について
(5) 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告に
ついて
(6) 諮問「市民が公民館事業に携わる公民館事業企画実行委員会の組織
及び運営のあり方について」について
(7) 第56回関東甲信越静公民館研究大会兼第52回東京都公民館研究大
会について
(8) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 9月市議会定例会について

① 9月末日で4年の任期を終える教育委員会委員1名の任命について

- ・高槻成紀委員について引き続き委員に就任することになり、2期目となる。

② 公民館に関連する一般質問について

- ・「なかまちテラスの現状と課題について」(虻川 浩議員(市議会公明党))

なかまちテラスのオープン以来、現在までの評価、旧仲町公民館・図書館ではできて、なかまちテラスになってからできなくなった事、建物の環境性能の評価、旧仲町公民館跡地の今後について

(答弁) なかまちテラスの現在までの評価は、生涯学習の振興と地域の活性化を目指す施設として、多様な市民が学び、集う場となっている。なかまちテラスになってからできなくなったことに関しては、公民館では部屋の数の関係上、利用団体同士で活動日が重なることから部屋の調整が必要なこと、スペースの関係上、利用団体の備品が置けなくなったことなどがある。建物の環境性能の評価については、屋上緑化、複層ガラスの使用、太陽光発電設備の設置、及び再生材料の活用などを適切に整備した。旧仲町公民館の跡地については、将来的には売却を行うことを基本として、公共施設マネジメントの観点から今後の活用について、検討を進めている。

- ・「オール市役所で市民の人権を守ろう」(日向 美砂子議員(生活者ネットワーク))
性的マイノリティへの理解を深めるための教員向け研修やパンフレット作成、公民館講座などの実施を行ってはどうか。

(答弁) 東京都や関係機関と連携しながら、教員が性的マイノリティを含め様々な人権課題についての理解を深めるよう、引き続き、学校へ指導する。公民館講座については、人権意識を啓発する講座などで、性的マイノリティへの理解を深める学習機会の提供について検討していく。

③ 補正予算について

9月14日の総務委員会において、公民館の施設修繕料を207万1千円増額することを含む補正予算案について審査が行われた。中央公民館では、250本、花小金井北公民館では115本の蛍光灯を省エネタイプに更新する予定。審査結果については全会一致で採択された。

(2) 空き部屋の当日利用申し込みの実施について

利用条件を緩和した空き部屋の当日利用の実施については、10月1日号の市報及び市ホームページ、チラシで市民への周知を行う予定。

(質疑応答)

- 委員 蛍光灯を省エネタイプに更新することによる費用的見通しは年間でどのくらい安くなるのか。
- 館長 27年度予想単価で算出すると中央公民館は年間で10万5,840円、花小金井北公民館は年間で4万3,903円の削減となる。
- 委員 性的マイノリティの講座は次回ということか。
- 事務局 次回ということではないが、憲法講座とか、人権を考える講座において、そのカリキュラムの中に入れていくことを検討している。
- 会長 クラスに1人はいるとのデータがあるのでよろしくお願いします。その他に補正予算の報告があったが、なかまちテラスについて、学習室1の音の響きの問題があるが、その後何か検討しているのか。
- 館長 学習室1の件については、建設会社と設計業者とで対応について検討している。
- 会長 利用者に会うたびに言われるので、検討のうえ、補正予算の時期に提案してほしい。このままだと、折角の施設なのに利用したくないと言われてしまう。

2 平成27年度 公民館定期講座実施状況について
事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

- 委員 保育のことで。おやつの前にせっけんで手を洗わなかったり、タオルを一人ずつ持たせているのに、公民館で用意したお手拭きタオルで全員の手を拭いたりしている。子どもを預ける立場としては、せっけんで手を洗わないで、みんなで同じタオルを使って、おやつを食べるのは気になるので改善できないか。

- 事務局 保育者の会議の中で話し合い、改善できる部分は改善していく。
- 会長 せっけんで手を洗うとか、タオルを持ってきているので使ってもらうなどのマニュアルはあるのか。
- 事務局 マニュアルはある。どのように行っているのかを確認する。
- 委員 マニュアル通りにやっているか、このマニュアルでいいかどうか精査することが必要。そのためには一般的な衛生上の基準で律しているかを確認してほしい。公民館として自信をもって言えるやり方を決めておくことが大事である。
- 委員 家庭教育講座で内容により受講者のグループ分けのある時には、子どもの年齢の近い人の席を近くにしてもらいたいとの要望がでているがどうか。
- 事務局 講座のグループ分けは、講師の意向もあるができるだけ努力していく。
- 委員 公民館の講座は子どもの年齢の近い人だけでなく、いろいろな人と知り会える場所でもあるが、参加者の満足度を高めるためにはグループ分けについての考えも必要だと思う。
- 委員 家庭教育講座でも保育付き講座の公民館と子どもと一緒にマッサージや体操をする公民館がある。保育付きの公民館は毎年保育付きで、子どもと一緒にマッサージや体操をしている公民館は保育を付けずずっと何年も来ている気がしているが、保育をしたくない理由が何かあるのか。
- 事務局 建物の構造上、専用の保育室がないところはあるが、保育付き講座ができないという館はない。講座の内容で親子が一緒に行っていることもあるが、保育付きの講座を増やしてほしいとのリクエストがあれば、保育付き講座を実施する。
- 委員 今年なければ、来年やるとか、バランスのとれるように考えてもらえないか。
- 事務局 検討する。
- 会長 時間の都合上、次第順を変更する。

5 平成 27 年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より、資料 3 及び 4 について説明した。

3 平成 27 年度公民館まつりについて
小川西町、上水南、花小金井北、小川、津田、鈴木の各分館より説明した。

4 意見交換会に参加しての意見について
事務局より資料 2 について説明した。
各公民館長、参加した委員、各々より感想を発表。

(質疑応答)

委 員 サークルの人に講師をやってもらう場合の謝金はどうなっているのかわからないが、サークルの人は半額にするとか、0 円にするとか工夫して、予算の枠を大切にしながら、講座数を増やすとか、サークル間の交流が少ないのであれば、サークル同士のコラボレーションの講座をすることで、サークル間の交流のきっかけをつくるのもあると思う。市民団体の市民講師募集の PR をするのもどうか。最後に、市民の立場からどうやったら地域課題の講座に人が集まるのか、意見交換会でアイデアを吸収する。

事 務 局 講師謝礼は、今まで一律 1 回 2 万 2 千円だったが、今年度から、2 万 2 千円を上限にした。中央公民館での「講座のための意見交換会」では、「地域課題を解決するための講座とは」というテーマでグループ討議した。

会 長 昨年に比べて、様々な人が参加されて多くの意見が出たのではないかと思う。これからも地域とつながりが認められるような人づくりをお願いしたい。

6 諮問「市民が公民館事業に携わる公民館事業企画実行委員会の組織及び運営のあり方について」について
委員より資料 5 について説明した。

(質疑応答)

委 員 事業企画委員会に鈴木公民館を定期的にご利用している団体枠が 2 団体しかないのは少ないのではないか。参加したい人を誰でも受け入れられる態勢が必要ではないか。

- 事務局 事業企画委員会の委員として、利用者懇談会や友の会の人数を増やすことは可能である。各館の状況に応じて変えられる。事業企画委員会の委員は委任を受けた方になるので、別枠で考えるかは検討材料の1つとなる。
- 委員 鈴木公民館がモデル館なので、2年間見て、改善できるものは改善して声を集約できればいいと思う。
- 委員 「7つの団体」を固定してしまうことに疑問をもっている。地域ごとに特性があるし、地域性や立地条件もあるので、全部の館が同じやり方で同じ団体というのは、はたしてそれが、うまくいくのだろうかと感じている。公民館の趣旨に賛同し、積極的に活動してくれる市民を多く集めることが大事だと思う。そのためには、「7つの団体」にとらわれず広く講座やサークルを通して声をかけていくとか私たち委員も地域とのパイプ役として働きかけていく。参加するメンバーをあまり固定せず、幅広く、幅を持たせて行ってほしい。また、職員任せにしないで、周りの人達と決めてほしい。
- 館長 公民館が利用者だけが集まる場所ではなく、地域の人にとって役に立つ公民館を作っていきたいので、固定というわけではないが、まずは、地域の社会資源の方々に声かけをした。
- 委員 公民館を知らない人に、公民館とはどのような施設か広く知らせることが大事だと思う。
- 事務局 「7つの団体」は固定でなく、目安としている。まず、7つの相手先と顔つなぎになってもらい、どことつながればよいかを考えていく。そのための基準団体と考えている。分館長として、最低限、関係を持っておきたい相手先である。
- 委員 誰を委員にするかということを考える時に大事なことは、1つは、今まで公民館にあまり興味のなかった地域団体の人にも入ってもらって、地域全体の公民館としての役割は大事だと思う。もう1つは、利用団体が利用するという立場だけでなく、責任を持って公民館の事業を企画して自分たちのものとしてやっていく、参画という態度をもっと身につけていただくことが大事な点だと思う。地域団体の人と利用者団体を企画委員にするのは両方大事なことだと思う。地域によってバランスが変わるので、そこは注意して、考慮してもらいたい。もう1つは、企画委員になった人には「公民館とは何か」小平市の公民館の方針とか、基礎的な研修をしっかりとやったほうがいいと思う。

委員 なかまちテラスLiNKsにしても、いろんな意見を積み上げてきた。全体会をしてみると、今まで積み上げてきた人とただ利用する立場でなかまちテラスLiNKsを見てきた人との中で共有されていないので、もう一度「どうしてなかまちテラスLiNKsが生まれたのか」「どうしてこういうことを考えていくのか」参画していく自覚を持っていくことが必要と思う。グループワークを行い、最初から仕切り直しということで、忌憚なく、職員でない個人としての意見はすごくいい意見が率直に出た。そこで、鈴木公民館の企画委員会では、グループワークで意見を出す時に職員はどのような距離感で関わっているのか。企画委員だけでなく、職員と一緒に協働してつくりあげていくことが大事だと思うので、どんな風に意見を吸い上げたり、企画していく時の委員と職員との関わりについて教えてほしい。

事務局 グループワークという形を使って13名の委員をテーマごとに3つのグループに分けているが、分館長はどのグループにも所属していない。ただ、企画委員会を行う前に委員長、副委員長（役員と呼んでいる）と役員会を行っている。内容は次の会議の進め方になるが、分館長の意見は役員会で反映している。グループワークについては、グループに入らないで、見ていることになる。

委員 出席は分館長だけということか。

事務局 出席する職員は分館長のみ。あと、中央から、館長と補佐に来てもらっている。各分館については交代で見学している。

委員 分館の方はさらに見守る感じになると思うが、中央館長と補佐についてはどうか。

事務局 館長補佐はグループワークに入らず、見守っている。

館長 私は入っていないが、意見の流れを観察している。

委員 職員と垣根を取り払って話しができることが大事だと思う。

委員 委員報酬について。鈴木公民館の企画委員会を月1回2時間ほどしているが、謝金は無給だと思うが、今後他の館で企画委員会が行われた場合、無給でも集まってくれるのか、公民館ではどのように考えているのか。

事務局 事業企画委員は無報酬とし、企画実行委員については報酬を出すことを考えている。無報酬だから事業企画委員会の委員を行わないという話しは聞いていない。

委員 中央公民館と分館は同じように企画委員会、企画実行委員会を立ち上げることになっているが、立場上違うのではないか。分館でできないことを全体的に見て中央がまとめてやらなければならないものも出てくるのではないかと思う。この点は、どのように中央公民館の方では考えているのか。

事務局 中央公民館については、11館の中核の役割を担って分館と同様に事業企画委員会を立ち上げることになっている。現在、事業企画委員会立ち上げに向けて準備中だが、その中で中央公民館の役割として全市を見据えた講座や、地域の課題を解決する講座について検討しているが、具体的にはまだ、まとまっていない。今後進めていく中で、課題も出てきて、中央の独自の役割とはどういうものかを検討していかなければならない。決まった際は公民館運営審議会にも図っていききたい。

7 第56回関東甲信越静公民館研究大会兼第52回東京都公民館研究大会について
参加者を紹介し、詳細は後日連絡することとした。

8 その他

(1) 利用率の向上に向けた取組について
事務局より資料6について説明した。

(2) 夏休み学習室開放結果集計表について
事務局より資料7について説明した。

(3) なかまちテラスLiNKS

9/1 全体会(14:00～) LiNKSのメンバー15名、職員9名 計24名の出席

1 6月30日に行われた第1回リンクス講座でLiNKSに対する共通認識を深めることが必要との意見があり、グループごとに話し合いを行い、意思の疎通を図った。

2 今後の活動として、①なかまちテラスだよりの中味の充実、②サークル同士の交流、③自治会との交流をなかまちサロンとして実施することを検討していく。

次回は、12月15日(火)午後2時より、中央公民館会議室にて開催する。